

移住労働と Labor Migration and Diaspora Policy ディアスポラ政策

—国境を越える人の移動をめぐる
Sending Countries' Perspectives on Cross-Border Movements of People
送出国のパーспекティブ



編著) 明石 純一
著) 首藤 もと子 小川 玲子 安里 和晃
馬 文甜 手塚 沙織 青木 元 人見 泰弘
鹿毛 理恵 櫻間 瑞希 佐々木 優香

A5判並製 344頁 ISBN978-4-904074-73-2 C3036
定価 6,050円 (本体 5,500円+税) ISBN978-4-904074-74-9 【電子版】

本書は、移住労働者を中心とする人の国際移動の現在や、それに付随する政策課題について、送出国側の政策・制度・アクターの動向とあわせて読み解こうとするものである。本書は2部構成となっており、第1部では、移住労働の背景・過程・帰結を、関係各国の政治経済的文脈と関連づけながら、実証的に分析している。第2部では、自国出身の国際移住者に対する送出国政府の働きかけ、すなわちディアスポラ政策の展開を考察している。

《目次》(抜粋)

- 序論 現代における人の越境—アジアと日本
- 第1部 移住労働の枠組み—課題と挑戦
- 第1章 移住労働をめぐるASEANの地域ガバナンス—制度化の動向と課題
- 第2章 アジアを越境するケア労働の制度化過程
- 第3章 特定技能制度の創設と国際労働市場をめぐる送出国の動向
- 第4章 中国人の海外就労をめぐる政策史的考察
- 第5章 米印間の高度人材の移動をめぐる齟齬とせめぎあい—WTOへの提訴から
- 第6章 中南米をめぐる国際人口移動のダイナミズム
- 第II部 ディアスポラ政策の展開とエスニックコミュニティの現在
- 第7章 移民出身国と在外自国民—ビルマ(ミャンマー)のディアスポラ政策とその影響
- 第8章 スリランカン・ディアスポラの変遷と労働力輸出政策
- 第9章 タタールスタン共和国によるディアスポラ政策と各地のタタール・コミュニティ
- 第10章 在日ブラジル人の定住化をめぐるディアスポラ政策の展開と実践
- 終論 国境を超える人の移動が紡ぐ新しい関係